

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月18日

【評価実施概要】

事業所番号	3870105016		
法人名	社会福祉法人 道真会		
事業所名	グループホームはぶやま		
所在地	松山市高岡町779番地6	(電話)	089-972-5666
管理者	江頭 喜代美		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成21年1月30日	評価確定日	平成21年3月18日

【情報提供票より】 (平成20年11月1日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成17年6月15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤	14人, 非常勤 0人, 常勤換算 14.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		
(3)利用者の概要 (平成20年11月1日現在)			
利用者人数	18 名	男性 5 名	女性 13 名
要介護1	0 名	要介護2	1 名
要介護3	8 名	要介護4	6 名
要介護5	3 名	要支援2	0 名
年齢	平均 82 歳	最低 71 歳	最高 101 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり (なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり (なし)	短期利用共同生活介護		
加算 あり (なし)	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ユニットの入り口には、ご家族が持ってこられた鉢植えの蘭が置かれ、職員お手製の手工芸品等も飾られていた。
 ボタン付けや繕い物をしたり、新聞紙を使つての箱作りや塗り絵をされる方や新聞を読むことを日課とされている方もいる。月に1度来訪される、おやつ作りのボランティアの方の作られるたい焼き等、皆さん心待ちにされている。訪問時の昼下がり、利用者と職員と一緒に童謡や民謡等、懐かしい歌を歌っておられた。
 職員は、利用者から風習やことわざ、乾物の戻し方や、ボタンの付け方等、昔ながらの知恵を伝授していただくこともあり、「自らが成長できる思いがする」と話しておられた。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)

・前回の評価結果を受けて、事業所では、運営推進会議等を通して、特に地域との関係づくりに努められた。

今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)

・自己評価は、すべての職員で取り組み「ワーカー会」でも話し合われて、管理者がまとめられた。管理者、職員は、「利用者の介護度も高くなり、時間に追われがちになっているが、利用者本位の介護を常に見失わないよう、原点に立ち返ることの大切さ」を感じておられた。

運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)

・会議には、ご家族の他、地域から自治会の会長、副会長、成人教育部長、婦人部長、高齢者教育部長、民生委員の方等も出席されている。会議では、ホーム便り等も配布し、事業所の活動状況や利用者の近況等について報告し、ご意見をうかがっている。管理者は、「会議を重ねるごとに、地域の方の事業所への理解が深まってきた」と話しておられた。地域の方の提案もあり、会議時、避難訓練を実施された。

家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)

・家族会は年に1回開催されており、外部評価結果等についても報告されている。ご家族から「事業所の食事を一緒にいただきたい」との要望があり、「数日前に連絡してもらえば可能である」旨をお伝えされた。

日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)

・事業所は、自治会に加入されており、職員は、地域の清掃活動にも参加されている。散歩時、近所の方と挨拶されたり、近所の方が利用者のために椅子を用意して下さることもある。これまでに介護教室を1度開催されており、地域の方が多く参加して下さった。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム はぶやま

(ユニット名) 花

記入者(管理者)
氏名 江頭 喜代美

評価完了日 平成 20年 12月 15日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			「笑顔、やさしさ、思いやり」を理念として、日々ケアを実践している。		
			(外部評価)		
			事業所は、利用者の立場に立ったケアを実践できるよう、「いつも笑顔、やさしさ、おもいやり」「のびのび、にこにこ、いきいき」という理念を掲げておられる。		管理者は、「地域にもっと目を向け、高齢化しつつある地域のニーズにも応えることのできる事業所にしていきたい」と話しておられた。今後さらに、貴事業所が「地域密着型サービス事業所」として、地域の中でどのようなことを目指していくのかということについて、地域の方達にも知らせていかれてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			毎朝の申し送り時、ワーカー会で再確認し、取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			事業所の各所に理念を掲示されている。職員は、毎朝の申し送り時等に、理念を復唱されている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			はぶやま便りにのせたり、家族への説明は出来ているが、地域への取り組みはわずかしが出来ていない。		地域とのかかわりを増やし、理念を伝えていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩時等、日常的なあいさつや声かけは出来ているが、立ち寄りにはあまり無い。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 敬老会へのお誘いはあったが、車イスの為参加出来なかった。地域の清掃等には参加している。 (外部評価) 事業所は、自治会に加入されており、職員は、地域の清掃活動にも参加されている。散歩時、近所の方と挨拶されたり、近所の方が利用者のために椅子を用意して下さることもある。これまでに介護教室を1度開催されており、地域の方達が多く参加して下さった。		管理者は、「今後は、公民館活動にも利用者と一緒に参加したり、近隣の小学校との交流等もすすめていきたい」と話しておられた。又、地域の方を対象にした介護教室の再開も考えておられた。今後さらに、利用者と地域の方々との交流の輪が広がるよう、取り組まれることが期待される。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議での話題にはあがるが、今のところ取り組んでいない。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価は全員で行い、外聞評価の結果も周知し、改善に取り組んでいる。 (外部評価) 自己評価は、すべての職員で取り組み「ワーカー会」でも話し合われて、管理者がまとめられた。管理者、職員は、「利用者の介護度も高くなり、時間に追われがちになっているが、利用者本位の介護を常に見失わないよう、原点に立ち返ることの大切さ」を感じておられた。前回の評価結果を受けて、事業所では、運営推進会議等を通して、特に地域との関係づくりに努められた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこの意見をサービス 向上に活かしている	(自己評価)			
			会議での報告や話し合いをサービス向上に活かしている。			
			(外部評価)			
			会議には、ご家族の他、地域から自治会の会長、副会長、成人教育部長、婦人部長、高齢者教育部長、民生委員の方等も出席されている。会議では、ホーム便り等も配布し、事業所の活動状況や利用者の近況等について報告し、ご意見をうかがっている。管理者は、「会議を重ねるごとに、地域の方の事業所への理解が深まってきた」と話しておられた。地域の方の提案もあり、会議時、避難訓練を実施された。			
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)			
			グループホーム交流会や事業者連絡会で直接話し合える場があり、質の向上に取り組んでいる。			
			(外部評価)			
			運営推進会議の際には、市の担当者から、「会議にご家族が参加することの必要性」や会議の開催方法等について助言していただいた。			
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)			
			ワーカー会で話し合う機会はあるが、全員が理解できてはいない。			学習会を再度行いたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)			
			ワーカー会での議題にあげ、話し合い、防止に努めている。			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分説明し、理解をいただいている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 希望や意見は相談しながら対応している。自己表現できない方は言葉、態度などから考察し、話し合っている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族の面会時や電話で報告している。		担当職員からの定期的なお便りの発送を考えている。
			(外部評価) ご家族の来訪時には、ご本人の健康状態や日々の暮らしぶり等を伝えておられる。職員は、ご家族が来られたら、出迎えて声をかけ、お話するように心がけておられる。これまでに、「はぶやまだより」を3回発行し、行事の様子等のカラー写真や、新人職員の紹介等を載せて、ご家族に届けられた。		管理者は、今後、事業所便りの発行回数を増やし、利用者個々に近況をしたためた手紙も添えて、ご家族にお送りしたいと考えておられた。ご家族が知りたい情報をタイムリーに提供できるよう、さらなる報告の工夫を重ねていかれてほしい。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会での意見など、運営に反映させている。		
			(外部評価) 家族会は年に1回開催されており、外部評価結果等についても報告されている。ご家族から「事業所の食事を一緒にいただきたい」との要望があり、「数日前に連絡してもらえば可能である」旨をお伝えされた。		管理者は、今後、独自の家族アンケートを実施する等、さらにご家族の意見や要望を出してもらえよう、働きかけたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 年2回、チャレンジカードの記入で、意見、提案を行っている。 ワーカー会での聞く機会もある。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 職員の補充が出来ず、勤務調整が出来なかった時期があった。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動や離職がある場合はダメージが少なくなるよう配慮している。		
			(外部評価) 新しい職員には、先輩職員から利用者個々の接し方や生活歴を伝え、利用者へのダメージを防ぐよう配慮されている。職員は、「管理者は、良き相談相手としての確かなアドバイスをしてくれる。又、チームワークも良く、自然に笑顔になれる職場である」と話しておられた。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修や後援会に参加する機会を作っている。 研修後はワーカー会で報告し、勉強会を行っている。		
			(外部評価) 事業所では、外部研修の受講をすすめておられ、時には勤務時間内に受講する場合もある。又、法人内でも「感染症」等について勉強されている。職員は、「新しい介護技術法」等の研修を受け、日々のケアに活かせるよう努めておられる。年に2回、職員個々に指針や課題、目標等を明確にする「チャレンジシート」を作成し、意識の向上につなげておられる。		管理者は、今後さらに、職員個々に段階に応じた外部研修の受講を、推進していきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)			
			グループホーム交流会に参加し、いろいろな課題を話し合い、質の向上に取り組んでいる。			
			(外部評価)			
			地域包括支援センター主催のグループホーム連絡会には、管理者と職員が出席し、意見や情報交換をされている。又、他の事業所で催された「救命救急法」の勉強会に参加されたり、事業所の防災訓練に地域のグループホームの職員が参加される等、交流を図っておられる。		今後は、運営推進会議にも互いに出席し合うよう、連絡会で話し合われた。	
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)			
			年2回の親睦会を実施			
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)			
			チャレンジカードを自己作成し、提出している。研修参加等の支援を行っている。			
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)			
			相談や悩みを聞く機会があり、信頼関係が築けるよう努力している。			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		<p>初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居時や申込をされるときに積極的に家族の意見、相談を聞く機会を作っている。</p>		
25		<p>初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人、家族とよく話し合い、希望に添えるよう努めている。</p>		
26	12	<p>馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居前に見学する機会を作ったり、本人へのコミュニケーションをとりながら、なじみの関係を作っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>入居当初は、ご家族に頻りに面会に来ていただいたり、ご本人が落ち着かないときには、ご家族に連絡して訪問していただく等、ご本人が馴染めるよう配慮されている。母体法人のケアハウスやショートステイ、デイサービスを経て入居される方もおられる。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>昔話や体験談を聞き、学ぶ事も多い。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員は、利用者から風習やことわざ、乾物の戻し方や、ボタンの付け方等、昔ながらの知恵を伝授していただくこともあり、「自らが成長できる思いがする」と話しておられた。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時等に情報交換しながら協力関係を作っている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人の状況をこまめに報告し、家族との良い関係が保てるよう支援している。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 家族や知人との面会の時間を大切にしている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) レクリエーションや作業を通し、良い関係作りに努めている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院された方の面会に行ったり、年賀状を出す等している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			家族や本人の話を聞き、思いに沿えるよう努力している。		
			(外部評価)		
			耳の不自由な利用者には、職員が大きい紙に分かりやすく書く等、筆談を通して思いを汲み取れるよう配慮されている。センター方式を一部用いて、思いや意向の把握に努めておられる。		さらに、利用者一人ひとりの思いに寄り添えるよう、引き出し方やかわり方の工夫を重ねていかれてほしい。又、日々のケアの中で、新たに知り得た利用者やご家族からの情報を職員間で共有し、日々のケアにつなげていかれることが期待される。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			調査表や家族、本人の会話から情報把握に努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			生活記録にこまかく記入し、現状把握に努めている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			家族や本人から意見を聞き、ケアプランを作成している。		
			(外部評価)		
			介護計画作成の際、ご本人がカンファレンスに参加される場合もある。又、介護計画作成時、ご家族とも相談されているが、意見や要望は少な目である。		さらに、ご本人がより良く暮らすことができるよう、ご家族からも具体的なご意見を出していただけるような働きかけの工夫が期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
				体調変化等、状況に応じてプランの変更、見直しをしている。	
			(外部評価)		
					3ヶ月に1度の見直しと、状態変化時には、随時の見直しを行っておられる。現状に即した介護計画の見直しができるよう、「ケアプラン評価表」を作成し、毎日確認されている。
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
				生活日誌、ケアプラン評価表の記入等、情報の共有出来ている。	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
				通院介助、買物、訪問理容の利用、希望に応じて支援行っている。	
			(外部評価)		
					職員は、利用者の希望に添って、個別にデパートに出かけることもある。遠来のご家族が来られた際に、泊まられることもある。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 年2回の親睦会を実施 防火訓練 歌の会やおやつ作りのボランティア利用		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 理容サービス利用		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議、グループホーム交流会に包括支援センター職員が参加しており、色々な情報が得られる。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 月2回の定期的な訪問診療を受けている。体調変化による受診の支援もしている。 (外部評価) 現在、ほとんどの利用者は協力医（運営者）をかかりつけ医とされており、かかりつけ医受診の際は、職員が同行し支援されている。調査訪問時、歯科医が訪問診療しておられた。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) かかりつけ医師に相談、治療を受けている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) かかりつけ医の看護師から助言うけている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時の状態把握や相談を行い、早期退院に向け努力している。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 本人の状態に応じ、家族と話し合い、方向性を決めていく。		家族とかかりつけ医との話し合う機会を多く作る。
			(外部評価) 事業所では、医療行為が必要となった場合は、事業所で支援することはむづかしい旨を、入居時にご家族に伝えておられる。現在、事業所で最期まで過ごしたいと望んでおられるご家族もある。		管理者は、「介護度が重度の方が多いので、今後、看取り支援を考えていかなければならない。ご家族やかかりつけ医、職員と話し合い、方針を共有していきたい」と話しておられた。ご家族の協力のもと職員間でも体制作りに向けて、話し合う機会とされてはどうだろうか。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) まだチームでの支援の取り組みは行っていない。		今後の変化に備えて検討会を開きたい。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 体調不良での入院が多く、十分な話し合いは出来ていない。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>常に言葉かけや対応には気配りしている。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>			<p>(自己評価)</p> <p>できる限り、自己決定ができるよう努力しているが、職員側の都合に合わせてしまっている時もある。</p>		<p>ドアが開いたままのトイレや居室について、「プライバシーの確保」の点から話し合いをされてみてはどうだろうか。</p>
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>大まかな一日の流れの中で過ごしているが、体調や希望に沿うよう努力している。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
<p>昼食時、食事がなかなかかからない方に、職員は、「ゆっくりでいいですよ」と何度も声をかけながら支援しておられた。食後にテレビを楽しみたい方に、職員は、お好みのチャンネルを聞いておられた。</p>					

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		(自己評価) 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	月2回利用の訪問サービスがあり、希望に沿って行っている。		
54	22	(自己評価) 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は介助が必要な為、一緒に食事はしていない。準備、片付けはできる方がいない。 (外部評価) 食事作りや片付けは、ほとんど職員がされている。昼食時、職員は、利用者が食べやすいよう声かけやサポートされる等、食事介助に専念し、各自で持参されたお弁当をスタッフルーム等で食べておられた。献立は、管理栄養士が立てておられるが、季節によって芋たきやお節等、利用者の希望に添っておられる。お誕生日には、手作りのケーキでお祝いされている。		グループホームの特徴を活かし、利用者と職員がおいしい食事を共に楽しむ工夫を重ねていかれることが期待される。又、食事一連の流れの中で、利用者個々の持っている力を活かして、かかわれるような場面を増やしていかれてはどうだろうか。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 自己管理のできない為、職員側で預かり、希望時に渡している。日曜日に買物の代行をしている。希望があれば同行も可能。		
56		(自己評価) 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の訴えができない方は定期的にトイレ誘導を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 週2回の入浴を行っている。 体調不良や本人の希望により、日を替えて入浴することもある。		
			(外部評価) 介護度重度の利用者は、機械浴を利用されている。入浴時の不安を抑えられるよう、声かけ等に工夫して支援されている。時には、ゆず湯等も楽しまれている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 体調や希望により昼寝をしているが、夜の睡眠の為、なるべく昼間は起きていてもらうようにしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 各人の力を見きわめ、お手伝いをお願いしたり、散歩やレクリエーションで支援している。		
			(外部評価) ボタン付けや繕い物をしたり、新聞紙を使っての箱作りや塗り絵をされる方や新聞を読むことを日課とされている方もいる。月に1度来訪される、おやつ作りのボランティアの方が作られるたい焼き等、皆さん心待ちにされている。訪問時の昼下がり、利用者と職員と一緒に童謡や民謡等、懐かしい歌を歌っておられた。		現在、介護度が重度の方が多く、支援に難しいこともあるだろうが、さらに、利用者個々の生活歴や力を活かし、事業所でも、利用者一人ひとりが喜びや張り合いを持って暮らしていけるよう、支援に工夫を重ねていかれることが期待される。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人が管理できる方は家族と相談の上、持って頂いているが、ほとんどの方は出来ない為、職員が管理している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			買物や散歩の時間をもち、ホームの外に出る支援している。		
			(外部評価)		
			団地内に散歩に出かけておられる。お正月には、近くの神社に初詣に行かれた。屋上で日向ぼっこをされる方もおられる。お花見等にも行かれている。		事業所では「みんなそろっての外出」も楽しみたいと考えておられるが、現在、介護度が重度の方が多く、事業所に大型車も無いということから、その機会はやや少なくなっている。職員は、「外の空気に触れることは利用者の方にとって、良い刺激となるので、外出の機会を増やしていきたい」と話しておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			春の花見は毎年行っているが、遠出はしていない。家族の協力を得て、外出される方もある。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			自分でできる方がほとんどいない。携帯電話を持っている方はいる。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			面会に来られた方がゆっくり過ごせる様、お茶を出したり、イスを用意したりしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) ワーカー会で話し合っている。 拘束はしないよう取り組んでいるが、やむを得ない場合は家族の了解を得ている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室には鍵はかけていないが、玄関は利用者の安全の為、かける事もある。 (外部評価) 現在、夕方等、職員の人数が少ない時間帯に、玄関を施錠することがある。		管理者は、今後、施錠しなくてもすむ取り組みを、すすめていきたいと話しておられた。利用者の自由な生活の支援について、理念にも立ち返りながら、話し合いを重ねていかれてほしい。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) ホールには必ず職員がいる状態を心がけている。夜間は特に気配りをしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 各人の状態に応じて居室に置いたり、事務所で保管、管理している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ヒヤリハット、事故報告書を作成し、原因や再発防止にむけて取り組んでいる。 定期的な防火訓練も行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時のマニュアルを作成しているが、訓練については不十分な面もある。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 運営推進会議で地域の方の協力をお願いしている。年2回、避難訓練を行っている。 (外部評価) 前回の運営推進会議時には、地域の方も参加していただき、避難訓練を実施された。又、運営推進会議では、災害対策について繰り返し話し合っておられる。管理者と職員が自治会の防災講習に参加された。管理者は、事業所を地域の避難場所の一つとして提供したいとの思いを持っておられる。		職員の「建物の2階、3階にある事業所ということから夜間時は、不安もある」という声も聞かれた。今後も、いざという時に、利用者個々が安全を確保できるよう、さまざまな災害を想定した訓練を重ねていかれてほしい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 利用者の状況に応じ、機会ある毎に話し合いをしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日バイタルチェックをし、様子観察に努めている。申し送りなどで常に全員が把握できるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>薬ノートを作成し、薬の管理をしている。服薬時は必ず確認を行っている。薬の内容に関してはすべてを把握はしていない。</p>		
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食事の工夫や水分摂取に注意し、運動を心がけているが、困難な時は便秘薬の服用をする。</p>		
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎食後、歯磨き介助をしている。定期的に義歯洗浄をしている。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食事、水分のチェック表作成</p> <p>(外部評価)</p> <p>法人の管理栄養士が献立を作成されている。水分は、1日に1000cc摂取できるよう、食事、おやつ、薬の服用時等に声をかけてすすめておられる。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者、職員ともインフルエンザの予防接種を受けている。食事前の手指消毒も実施している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 毎日新しい食材の調達し、まな板、ふきん等毎日消毒している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 建物の2、3Fがグループホームになっており、入口が分かりにくい面もあるが、出入口ドアに表札を掛け、いつも開放している。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節ごとに造花で飾りつけをしている。 ホールの壁には手作りのカレンダーを貼る等工夫している。 (外部評価) ユニットの入り口には、ご家族が持ってこられた鉢植えの蘭が置かれ、職員お手製の手芸品等も飾られていた。居間には、シクラメンが飾られ、手作りのカレンダーや利用者の塗り絵の作品や行事の写真等が貼られていた。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ホールにソファを置き、いつでもくつろげる様にしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			使い慣れた家具や、家族の写真、仏壇等持ち込まれ、各々に使い勝手良く工夫している。		
			(外部評価)		
			居室には、それぞれ洗面台が設置されており、調査訪問時、昼食後の口腔ケアをされている方もうかがえた。畳のお部屋もあり、テレビやテーブル等を持ち込まれており、仏壇やお位牌を祀っておられる方もあった。又、ご家族の写真や職員から贈られた誕生日のカード等も飾っておられた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			季節により、体感温度に常に気を配り、日頃より換気や空調に配慮している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			廊下やトイレ等、手すりをつけているが自立できない方が多い。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			トイレ、浴室等、のれんをつけたり、各居室入口には表札をつけている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			車イスの方が多いため、ベランダは利用していないが、花を置く等、見て楽しむ工夫をしている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	自分から意志を伝えられる方が少ないが、家族からの情報や様子観察しながら気持ちをくんでいる。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	介護度高い方が多い為、体調状況や声かけにより、職員がペースを作っている事が多い。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	人員体制や、車イス利用者が多く、希望に沿えていない。 家族さんの協力がある方は出かけられるが、一部の方のみである。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	月2回の訪問診療があり、かかりつけ医への相談など出来ている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ たまに 4 ほとんどない	

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが拡がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えている (自己 ② ② ② ② 評価) 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている (自己 ② ② ② ② 評価) 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 ② ② ② ② 評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 ② ② ② ② 評価) 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

認知度が高く、重介護の方が多いため、利用者の思いをすべて解決出来ているとはいえないが、健康管理や日々の心の安定に気を配っている。
管理栄養士による献立により、常においしい食事を提供し、栄養管理が出来ている。